

能美市寺井地区の海岸

7-2-20



梅雨の晴れ間を見つけて、寺井地区の海岸に行ってみた。何もいないなと思
いながら砂浜を歩いていたら、鳥の鳴き声が聞こえた。空を見上げると、アジ
サシの雄姿が見えた。よく見ると、コアジサシであった。



コアジサシの長い翼

コアジサシは、カモメの仲間だそうであるが、胴に比べ、細長い翼を持ち、
高速で空を飛ぶ。今の時期、幼鳥は、もう巣立ってしまったが、6月の初め頃
には、砂浜に窪みを作って卵を産み、子育てをする。



砂浜の窪みを作って座るコアジサシ

人や動物が近づくと、抱卵したり、餌を与えている親鳥たちが一斉に飛び立ち、けたたましく泣きながら飛び交い、襲いかからんばかりの勢いで威嚇する。近くの田に巣作りするチドリの仲間、ケリも似た習性を持つ。



空中で警戒するケリ

この地区の海岸では、初夏のころ、チュウシャクシギなどの旅鳥を見ることもできる。



チュウシャクシギ

冬には、マガモやカルガモなどが、海草などを摂っているところも見られる。



波消しブロックで寛ぐマガモ

近くの田では、先程述べたケリや、冬には、ベニマシコなども見られることがある。



ベニマシコ

コアジサシは、オーストラリア方面から渡来するのであるが、オーストラリアー日本間を、無休憩で飛ぶと言われ、現在、日豪、共同で研究が行われているようである。